

ひとをつなぐ、未来につなぐ。

広報

おおつち

Otsuchi

2017.8.5

8

AUGUST

No.644

[復興通信]

私たちがつくる私たちの新しいまち

鉄道復旧の進捗状況

P.2-3

[大槌ひとクロストーク]

たかはし ひろあき おおく ほ あやの
高橋 宏明さん × 大久保 彩乃さん

P.20



今月の大槌ひと

おおく ほ あやの
大久保 彩乃さん
(27歳、一般社団法人Tsubomi)
女性が自分らしく輝ける町に

→ 詳しくは裏表紙へ

大槌町 空き地バンクが スタートしました

P.4-5

私たちがつくる私たちの新しいまち 40 鉄道復旧の進捗状況



JR山田線(宮古-釜石間)は、東日本大震災の被災により現在も運休が続いていますが、平成30年度末の三陸鉄道への移管・開業を目指して、JR東日本による復旧工事が進められているところです。鉄道の運行再開に向けて、現在の復旧状況、開業に向けたスケジュール、利用促進の取組等についてお知らせします。

大槌駅デザイン総選挙開催！ ～あなたの一票が駅のデザインを決める～

平成31年3月の山田線の三陸鉄道移管・開業にあわせて、大槌駅を再建します。

大槌の玄関口として末永く愛される駅舎とするため、駅舎のデザインのファン投票を開催します。皆様のご参加をお待ちしています！



両日とも先着
250名様に
三鉄グッズを
プレゼント！

8/11は、
おおちゃん、
さんてつくんも
やってきます！

実施内容

- ①開催日時 8月11日(祝) 11:00～17:00 (投票は11:30から)
8月12日(土) 10:00～17:00
- ②会場 シーサイドタウンマスト 1階センターコート
- ③投票方法 希望するデザインに、シールを貼って投票
- ④投票資格 大槌駅を良い駅にしたいと願う人であれば、だれでも投票できます。(投票は、1人1回)
- ⑤問合わせ 総合政策課 Tel 0193-42-8724

大槌駅開業サポーターを募集します！

鉄道開通に向け、多くの人に鉄道を利用してもらうための方策や、大槌駅をより便利で居心地の良い駅にするためのアイデアなどについて、主体的に考え、町と一緒に取り組んでいただける「大槌駅開業サポーター」を募集します。鉄道の復旧と大槌駅の開業を一緒に盛り上げていきませんか？

【活動内容】

- ①大槌駅開業イベントや鉄道の利用促進策の企画・検討
 - ②開業イベント等の運営のお手伝い
- ※活動はボランティアで、報酬等の支給はありません。無理のない範囲で、気軽にご参加ください。

【活動期間】

平成31年3月(大槌駅開業)まで

【登録要件】

- ・開業サポーターとして活動する意欲のある人
- ・義務教育学校7年生(中学生)以上の人 ※18歳未満

の方は、保護者の同意が必要

【登録方法】

- ・登録申込書(町ホームページ又は役場総合政策課で入手可)に必要事項を記入のうえ、持参・郵送・FAX・Eメールのいずれかにて、総合政策課まで提出をお願いします
- ・8月11日、12日に開催する大槌駅デザイン総選挙の会場でも受付します

【特典】

- ①今後予定している三陸鉄道体験乗車ツアー等のイベントに優先的に参加できます
- ②三陸鉄道のイベント情報を、Eメールで提供します(希望者)
- ③全ての活動に参加したサポーターには、大槌駅開業時に記念品をプレゼント

【問合わせ先】

総合政策部 総合政策課 復興まちづくり班
Tel 0193-42-8724

【今後のスケジュール】

年度		H29	H30	H31
主な行事		▼全線開業		
JR 復旧 工事	土木・軌道工事	■	■	
	電気・通信工事	■	■	
	検査・試験運転		■	
駅舎 整備 備	設計	■		
	建設工事		■	
	開業準備			■

マイレール運動で山田線を支えよう！

山田線(宮古-釜石間)の移管により、総延長163kmの日本一長い第三セクター鉄道になる三陸鉄道株式会社ですが、沿線地域の人口減少や車社会の進展により、経営環境は年々厳しくなっているのが実情です。

地域の足である鉄道を持続的に運営していくためには、開業前から沿線地域住民がマイレール意識を持ち、積極的に利用していただくことが欠かせません。

県、山田線沿線市町、三陸鉄道株式会社は、南北リアス線沿線市町村やJR東日本と連携しながら、山田線の利用促進・活性化に取り組めます。

特に運賃については、移管に伴う運賃水準上昇の負担感を和らげるため、JR東日本からの移管協力金を活用して、以下の激変緩和措置を実施します。

- 通学定期の運賃は、6年間の割引を行い、段階的に引き上げます。(実施期間の延長の必要性については、移管後5年目に運営状況等を踏まえて関係者で協議します。)
- 高齢者や通院利用者などの地域住民対応として、割引率が高い回数券を発行します。

【JR山田線復旧に係る経緯】

時期	できごと
H23.3	東日本大震災津波により、JR山田線・宮古～釜石間(55.4km)は、駅舎、線路、橋りょうの流出など甚大な被害を受け不通に。
H24.7	沿線首長による山田線公共交通確保会議において、JR東日本から提案のあったBRT(バス高速輸送システム)による仮復旧案を拒否。
H26.12	JR山田線復旧に係る沿岸市町村首長会議において、JRから示された移管協力金30億円、運行車両の無償譲渡、一定の施設整備等を条件とした、三陸鉄道への運営移管案を受け入れることで合意。
H27.2	JR東日本と基本合意書及び覚書を締結。
H27.3	JR東日本が山田線(宮古・釜石間)の復旧工事の着工式を開催。
H27.6	山田線沿線市町首長会議において、一日も早い全線一括開業を目指し、早期の復旧工事完成をJR東日本に要請。
H27.7	JR東日本と協定書を締結。
H29.2	JR山田線移管に係る沿線首長会議において、移管協力金30億円の使途及び配分額、活用期間、自治体負担、運賃激変緩和措置等について合意。

三陸鉄道からのお知らせ

【観光列車のお知らせ】

三陸鉄道では、この夏、楽しい観光列車、イベント列車を運転します。皆様のご乗車をお待ちいたしております。

○ランチ&スイーツレトロ列車

■運転日

8/11(祝)、12(土)、13(日)、19(土)、20(日)、26(土)、27(日)
9/9(土)、10(日)、16(土)、17(日)、18(祝)、23(祝)、24(日)

■運転時刻 釜石発 12:05 → 盛着 12:58

■運賃料金 乗車区間の運賃(釜石から盛 1,080円)と指定席料金310円にランチ、スイーツのメニュー選択(1,500円から)座席は全席指定で乗車日1ヶ月前の9時から受付開始(乗車3日前に予約締切)

レトロ列車にあわせた明治・大正の矢絣模様の着物に袴姿のアテンダントがご案内。車内アトラクションサービスもあります。

☎ 三陸鉄道釜石駅 0193-22-1616

【貸切列車補助制度のご案内】

岩手県内の方は、沿線市町村からの補助制度により、貸切列車及び団体で三陸鉄道にお得に乗ることができます。

○貸切列車

- 2時間以内で乗車した駅に戻ってくる場合(車内で宴会やイベント、会議など自由にご利用できます)
- 区間は釜石一盛、宮古一田野畑など、運転時刻についてはご相談に応じます。
- ・レトロ列車、お座敷列車(北リアス線のみ)は52,000円が26,000円に(※カラオケ付です)
- ・一般車両は40,000円が20,000円に
- 最大定員は、お座敷列車、レトロ列車は48人、一般車両は50人まで乗車できます。お申込みは1ヶ月前までをお願いします。

○団体利用

8人以上でご利用の場合、3日前までにお申し込みいただくと運賃が半額になります。ただし人数が多い場合(15人以上)は、2週間前までにお申し込みいただかないと予約が受けられない場合がありますのでご注意ください。

☎ 三陸鉄道 0193-62-8900

大槌町空き地バンクがスタートしました

8月1日に、土地区画整理事業区域内を対象とした空き地バンクと宅地取得補助制度、住宅建設補助制度がスタートしました。

今回は、これらの制度利用に係る手続きやメリットなどについて紹介します。

詳細については、パンフレットまたは町ホームページで確認できますので、ご覧になりたい場合は、民生部コミュニティ総合支援室（以下「役場窓口」という。）までお問い合わせください。

1 空き地バンクの手続きの流れ

(1) 土地を売りたい・貸したい人の「物件登録」手続



① 登録申込

所有する空き地物件を登録する場合は、役場窓口に次の書類を提出してください。

- ・空き地バンク物件登録申込書
- ・戸籍、住民票（土地の共有者や相続人がいる場合は、申請者以外の権利者の分も必要です。）

※仲介を担当する不動産業者については、売主・貸主が町指定不動産業者（赤武石油ガス㈱、家子不動産）から選んでください。

② 町による審査・調査・登録

登録申込書に基づき、町が審査し、結果をご連絡します。

③ 公開内容の確認

物件の公開前に、物件登録者に公開内容の確認をしていただきます。

なお、登録者の個人情報は公開内容の対象外です。

④ 物件情報の公開

物件情報は、町ホームページや指定不動産業者で公開し、購入等希望者を募集します。

(2) 土地を買いたい・借りたい人の「利用者登録」手続



① 物件情報の閲覧

空き地バンク掲載物件は、物件情報、町ホームページのほか、指定不動産業者のお店で自由に閲覧できます。（手続不要）

② 物件に関する問い合わせ、現地見学

物件の詳細や現地をご覧になりたい場合は、役場窓口又は指定不動産業者にお問い合わせください。

③ 利用者登録の申込みについて

購入等を希望する場合は、事前に役場窓口に空き地バンク利用者登録申込書を提出した後に、指定不動産業者に購入等の交渉申込をしてください。

(3) 交渉・契約の手続



2 空き地バンク制度を利用するメリット

(1) 売り手、貸し手のメリット

不動産売買、賃貸に係る不動産業者への手数料がかかりません。

国家資格のある不動産鑑定士による売買・賃貸の参考評価額をお知らせします。

未利用財産を売却又は賃貸することで、固定資産税を軽減できます。

※平成33年4月以降、特例の軽減税率がなくなるので、更地で保有し続けた場合、税負担が増大してしまいます。

(2) 買い手、借り手のメリット

空き地バンクで買った土地に家を建てる場合、それぞれ100万円の宅地取得補助と住宅建設補助が受けられます。（計200万円） ※補助の要件等は、以下の内容をご確認ください。

3 土地区画整理事業区域内宅地取得補助制度の概要

空き地バンクを利用して土地区画整理事業区域内に住宅を新築した場合、宅地取得費用の一部を補助するものです。

(1) 補助対象者

空き地バンク制度を利用して土地区画整理事業区域内に新たに宅地を取得（賃貸借は含まない）し、実際に住宅を建設して居住した人を対象とします。ただし、町税等の滞納者を除きます。

ただし、当該土地区画整理事業区域内に、遊休地を所有している人は補助の対象外となります。

(2) 補助要件

土地区画整理事業による使用収益開始の日から2年以内に住宅の建設に着手していることを補助の要件とします。なお、平成29年8月1日時点で既に使用収益開始済みの画地は、平成29年8月1日から2年以内の住宅の建設着手が補助の要件となります。

(3) 補助額 100万円

(4) 申請期限 取得した宅地に建設した建物を登記した日から1年以内

4 土地区画整理事業区域内住宅建設補助制度の概要

補助対象は、土地区画整理事業の使用収益開始から2年以内に住宅の建築に着手した場合、住宅建設費用の一部を補助するものです。

(1) 補助対象者

土地区画整理事業区域内に自らが居住する住宅を建設する人を対象とします。ただし、町税等の滞納者を除きます。

(2) 補助要件

土地区画整理事業による使用収益開始の日から2年以内に住宅の建設に着手していることを補助の要件とします。なお、平成29年8月1日時点で既に使用収益開始済みの画地は、平成29年8月1日から2年以内の住宅の建設着手が補助の要件となります。

(3) 補助額 100万円

(4) 申請期限 建設した建物を登記した日から1年以内

※建売住宅の補助要件は、上記のものとは一部異なります。その他、詳細については、民生部コミュニティ総合支援室（TEL 0193-42-8718）までお問い合わせください。

東日本大震災津波における 大槌町災害対策本部の 活動に関する 検証報告書（概要版）

町は、平成25年度に東日本大震災津波における災害対策の反省を防災対策に生かすために検証を実施し、検証結果については地域防災計画の改正などに反映しています。しかし、40名近い職員が犠牲となった当時の役場の災害対策本部の活動などについて、なぜそのような犠牲者が出たのかといった、より根本的な原因は明らかにされていませんでした。そのため、平成28年度から震災検証室を設け、この点について検証を行ってきました。今般、結果がまとまりましたので概要版を掲載します。町は、この結果を踏まえ、今後の役場の防災体制の構築や本町の地域防災力の向上に生かしてまいりますので、町民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

第1章

検証の目的

役場が職員の犠牲を防ぎ得なかった直接的な原因とともに、なぜそのような状況が生まれたのかといった背景を探り、抜本的な改善を図るための方向を示すことで、今後の町の防災対策に

生かしていく。

第2章

検証の視点及び方法

1 犠牲者の状況について
公務災害等の申請内容に基づき犠牲者の状況についてみると、次のと

おりである。

災害対策本部の対応のため 役場前駐車場にいた者	20名
災害対策本部の対応のため 役場庁舎内で待機していた者	8名
出張先から帰庁中だった者	5名(畜産公社職員を 含めれば6名)
避難所対応のため移動中だ った者	3名
町内から勤務公所に向かっ て移動中だった者	2名
計	38名(39名)

2 検証の視点

犠牲者は、役場の管理下にあったか若しくはそれに準じた状況にあったことから、役場が職員の安全確保のために適切な対応をとっていれば防げた事案であると考えられる。このため、以下のとおり、全体の状況とともに組織としての動きも調べることにした。

- ・ 当時の状況はどのようなものだったのか。それはなぜ生まれたのか。
- ・ 組織としてどう行動しようとしたのか。それはなぜか。

3 検証の方法

当時の状況やその背景を確認するため、以下の方法をとった。

- (1) 当時役場の管理下にあったと思われる職員に対するヒアリング
- (2) 前回の検証の記録の確認
- (3) 参考となる資料の閲覧
- (4) 関係機関等への照会

4 検証のための職員ヒアリングの内容
上記の視点をもとに、状況やその背景を探るため、以下の点についてヒアリングを行った。

- (1) 当時の状況について
 - 当時の職員の状況や意識等
 - 職員が入手した情報やそれに対する意識等
 - 災害対策等の状況
 - 指示や下命の状況
- (2) 津波に対する意識や理解について
- (3) 危機管理や防災体制について
 - 職員の理解等
 - 役場の組織体制等
- (4) 組織の雰囲気や業務の繁忙

第3章

ヒアリングの状況

1 ヒアリング対象者
現役の職員 … 69名
退職した職員 … 27名
計 … 96名

2 ヒアリングを実施した職員

現役の職員 … 64名
退職した職員 … 16名
計 … 80名

第4章

職員の行動について

1 ヒアリング実施職員の当時の位置等
(左図参照)

役場庁舎在勤者（業務で周辺施設等にいた者も含む）：44名	
庁舎に残っていた者	15名（犠牲者：28名）
配置場所に移動した者	13名（犠牲者：3名）
避難の呼びかけ等を行って高台に向かった者	9名
業務等のため庁舎以外の場所に移動した者	7名
単独公所在勤者（教育委員会事務局を除く）：7名	
勤務場所に待機した者	5名
避難した者	2名
出張等で町外（沿岸部）にいた者：4名	
役場に向かった者（内2名は役場に到着）	3名（犠牲者：6名）
出張先で待機した者	1名
休暇等で町内にいた者：2名	
職場に向かった者（役場1名、単独公所1名） （2人とも職場に到着）	2名（犠牲者：2名）
小計	57名
教育委員会事務局在勤者：15名	
役場に向かった者	1名
城山で住民の避難対応等を行った者	14名
休暇等で町外（内陸部）にいた者：8名	
小計	23名
合計	80名

第5章

問題の所在

問題は40名近い職員が犠牲になったということだけではない。犠牲になった職員以外の職員も、状況によっては犠牲にならないう状況にあった。

第6章

職員の防災等に係る意識について

業務に忠実である職員が、役場の職員として災害時には住民の安全を確保することを最重点として取り組もうとしたのが、当時の職員の行動であったと考えられる。

第7章

当時の職員の意識や行動について

多くの職員は、津波に対する意識や津波の危険性に対する認識が十分ではなかったように思える。

そして、このような津波についてのイメージや認識が、役場に本部を設置することや、それぞれの行動に違いを生んだひとつの原因と考えられる。

第8章

役場における津波防災について

災害対策本部の設置

1 大津波警報発表時の住民の避難と
災害対策本部の位置の問題
地域防災計画上、大津波警報が発表された場合は避難勧告若しくは避難指示が出されるのに対し、本部の設置場所は（被災しない限り）役場になっている。

災害対策上は仮設本部の設置という意識はあったものの、大津波警報で本部を移すという考え方はほとんどなかったものと思われる。

この背景には、津波をそれほど危険だとは思っていないが防災の業務として（仕事だから）住民の避難はやらなければならないという意識と、自分たちに対する防災意識の欠落が混在しているのではないかと。役場の機能が失われたら住民がどうなるかを考えることは、防災の面から重要である。

2 仮設本部設置規定と職員の配備
仮設本部設置規定についての職員の認識についてみると、半数以

上は知っていたものの4割近くの職員は知らなかったと答えている。

仮設本部設置規定の内容は大津波警報発表時に適用されるとは直接には読めないことや、具体的な適用についての職員への周知が不十分だったことなどから、職員の間では、大津波警報が発表されたら中央公民館に本部を移設するという認識はあまりなかったように思える。そして、実際の対応や訓練でも役場が本部だった経験と津波の危険に対する意識がないことから、本部を役場前に設置し災害対策を実施したものとと思われる。また、職員の参集についても、出張等で庁外にいた者は、役場に参集する意識が強かったものと思われる。

第9章

役場における津波防災について

防災体制など

1 職員の安全確保の問題
大津波警報が発表されたときに、職員はどつやつて自分の安全を確保するのかなど、職員の安全確保につ

いて、組織として十分に考えてこなかったことがうかがえる。

2 教育訓練の問題
災害対策に関する職員への教育訓練は、必ずしも十分に行われてはいなかったものと思われる。この結果、災害対応ができる人材が育っていないことが考えられる。

3 津波防災に対する役場の対応体制の問題
統率体制、初動対応等災害対応体制の不備がある。

4 備えの問題
本部移設のための備えについてみれば、移設後の業務遂行のための整備が十分であったとは言いがたい。また、役場において災害対策を行うにしても、電気や通信の途絶に対して備えが十分でなかった。

5 津波に対する学習の問題
役場として、津波についての理解を深める対応を怠ってきたのではないか。

その結果、大槌町役場における津波防災体制が不十分となり、職員それぞれの津波に対するイメージがそ

れぞれの行動に影響し、役場への災害対策本部の設置につながったし、そのほかの職員の行動にも危険が伴ったと考えられる。

第10章

これまでの整理

1 この問題は、40名近い職員の犠牲だけの問題ではないこと。そしてそれは、役場が避難や職員の安全確保について、適切な対応をとっていれば防げた事案であること。

2 しかし、役場における大津波警報発表時の行動基準のようなものは、明確ではなかった。

3 そのため、業務に忠実で住民の安全を考えていた職員は、置かれた状況によって、それぞれどうすべきかを考えた。

4 その結果、概ね以下の行動になった。

- ・庁舎においては、災害対策本部員やその運営に関係する職員は、災害対策活動をしなければならぬと思っただが、津波についての危険をそれ程思わなかったために、本部を役場に置き、周辺には待機の

職員がいた。

- ・避難誘導等の業務で配置のある職員は、その職務を行うことを考え、津波に対するイメージや指示の有無にかかわらず配置場所に赴いた。
- ・避難の必要を感じ、役場庁舎などにおいて上司に相談できた職員は、上司の了解若しくは指示のもとに、住民避難を呼びかけたりしながら避難行動をとった。
- ・単独公所等にいた職員は、公所の判断若しくは個人の判断として、避難行動や公所に留まる行動をとった。
- ・出張などで不在だった職員のうち、津波の危険を感じた職員は危険回避行動をとったが、津波の危険を認識できず所属公所に戻らなければという意識だった職員は、役場等に向かった。
- 5 つまり、大津波警報発表時の行動基準が明確ではない中、職員の安全確保についての役場としての取り組みも十分ではなく、また安全確保を指示できるような人材も育ってはいなかったことから安全確

第11章

現場での危険回避

保のための指示もなかった。このため、それぞれの職員の津波に対するイメージや安全確保に対する意識の違いと、それぞれのいた場所(状況)の違いによって行動に違いが生じたものと思われる。

6 そして、そのような状況を生んだのは、本来地域防災の中心となるべき役場として、津波防災に対するこれまでの取り組みが十分ではなかったことである。

具体的には、津波に対する学習が十分ではなかったこと。そのため、組織として津波やその危険に対する認識が不十分であった。このことが、津波防災対策をおろそかにさせた要因のひとつとして考えられる。そしてその結果、本部の移設や職員の安全確保が十分に考えられていなかったと思われる。

また、災害対応のための体制が不十分であったり人材が十分に育っていないかった。そのことも、安全確保の判断や行動に影響を及ぼしたと考えられる。

えられる。映像媒体の描き方から、誤った印象を持った職員もいる。そして、ほとんどの職員は自らが津波について学んだことがない。

津波の本当の姿を学ばなかったことや災害についての正しい知識を持たないこと(学びの重要性)が伝承され、その結果として防災について学ぶ地域文化が形成され、危険回避のできる住民が普通に生活している地域が作り上げられていることが、災害による人的被害の軽減につながるのではないか。

また、万が一に備える感覚を持つことも重要である。

第13章

役場に対する支援について

1 気づきの問題
組織の安全確保や防災の取り組み方を理解するには、小さな自治体が独自に気づき、学ぶのは困難ではないか。小さな自治体の実態を踏まえ、津波防災への取り組み方や組織の安全確保の重要性についての気づきや教への支援を考えることも重要である。

役場としても、気づきのできるシステムづくりが重要である。

2 津波情報の問題
発表する数字が、現場における行動の判断基準になるということを理解してほしい。

役場も、情報の意味を考え、危険回避の意識を持つて対応することが必要である。

第14章

今後に向けて

危機管理の考え方の習得、それに基づいた災害対応体制の構築や教育訓練、気づきができる組織づくり、地域防災についての住民とのあり方等の共有、実現のためのトップのリーダーシップが重要である。

「東日本大震災津波における大槌町災害対策本部の活動に関する検証報告書」の住民報告会を次のとおり開催しますので、ご参加くださるようお知らせします。

【日時】
8月9日(水) 19:00～
【場所】
役場多目的会議室
(旧大槌小学校体育館)

すくすく広場

大槌の子育て情報を
まとめたページです

健診・相談

健診・相談を下記の日程で実施します。会場は、大槌町役場前駐車場内仮設保健センターです。持ち物は、母子健康手帳とアンケート(事前に郵送)などです。なお、対象者には、個別に通知します。

【4ヵ月児・7ヵ月児相談】

- 実施日 8月7日(月)
- 受付時間 9:30～10:00(平成29年1月生まれ)
13:30～14:00(平成29年4月生まれ)

【12ヵ月児相談】

- 実施日 8月21日(月)
- 受付時間 9:30～10:00(平成28年7月生まれ)
13:30～14:00(平成28年8月生まれ)

【3歳児健康診査】

- 実施日 8月25日(金)
- 受付時間 11:45～12:15(平成26年2月・3月生まれ)

【4歳6ヵ月児相談】

- 実施日 8月29日(火)
 - 受付時間 9:30～10:00(平成25年1月生まれ)
13:30～14:00(平成25年2月生まれ)
- ☎保健福祉課 健康推進班 TEL 0193-42-8715

大槌町地域子育て支援センター「かりん」

対象者は、未就学児とその保護者(祖父母も可)です。

みんなが自由に集える場、子育ては一人じゃない…。みんな育てる「共育」の場。そんな優しい空間が「かりん」です。いつでも遊びに来てくださいね!

※下記の日時はお休みします。

14日(月)～16日(水):お盆休みのため/24日(木):午前もうろう教室のため/30日(水):スタッフ研修のため
※詳しい内容はセンターでお知らせしますので、お気軽にご連絡ください。

【親子制作】

- 日時 8月1日(火)～10日(木)
- 内容 親子で夏の制作をしましょう。のびのび広場内で行っていますので、都合の良い日にお越しください。

【このゆびとまれ おはなし会】

- 日時 8月8日(火) 10:00～11:00
- 内容 「よみかかせサークル このゆびとまれ」さんによる絵本の読み聞かせです。

【おもちゃの広場】

- 日時 8月9日(水) 10:00～12:00

子育て支援団体のイベントについて

大槌町内の子育て支援団体が主催する8月のイベントについてお知らせします。興味のある方はぜひご参加ください。(事前に問い合わせが必要な場合もありますので、ご注意ください。)

一般社団法人「Tsubomi」

【ママのためのアクセサリ作り講座】

- 日時 8月24日(木) 14:00～16:00
- 内容 MilkyWayさんが講師となって、アクセサリ作りを行います。参加希望の方は、あらかじめお問い合わせください。※参加は有料です。費用についてはお問い合わせください。
- 場所 大槌町コミュニティプレイス

■内容 「ままりば」さんによるおもちゃの広場を開催します。木のおもちゃを使って楽しく遊びましょう。どなたでも参加いただけます。

【かいじゅうお悩み相談室】～もぉ!どうしたらいいの?! なんでイヤイヤ言うの?!こんな悩みもすぐに解決!!～

- 日時 8月10日(木) 10:00～11:30
- 内容 保健師さん、栄養士さんに育児の悩み相談・身体測定ができます。

【ドゥーラカフェ】

- 日時 8月22日(火) 10:30～12:00
- 内容 産前産後のママとその家庭を支えるドゥーラがいる講座付きカフェです。今回は、アロマハンドマッサージ&虫よけスプレー作りです。

【本屋さんの日】

- 日時 8月23日(水)、8月25日(金)
- 内容 マスト一頁堂さんのご協力で本屋さんを開催します。

◆のびのび広場◆

- 日時 月曜日～金曜日(祝日除く)
9:30～12:00、13:00～16:00
※7月の土曜日開館は、19日(土) 9:30～12:30

☎大槌町地域子育て支援センター「かりん」 TEL 0193-42-2570

【パパ・ママカフェ】

- 日時 8月26日(土) 9:30～16:00
 - 内容 親子の居場所づくりのためのイベントです。子育てを応援して下さる方、ご理解のある方ならどなたでも大歓迎です。地域の子育てを、一緒に盛り上げていきましょう。※参加は有料(500円)です。詳細はお問い合わせください。
 - 場所 大槌町コミュニティプレイス
- ☎一般社団法人「Tsubomi」 TEL 080-5555-7164

ままりば

【ふでもじ教室】

- 日時 8月25日(金) 10:00～12:00
- 内容 自分の名前でもじアートを作りましょう。※参加は有料です。詳細はお問い合わせください。

☎「ままりば」 TEL 080-2831-6984

すくすく赤ちゃん

このコーナーでは、町内の1歳前後の赤ちゃんを紹介しています。今月は平成28年5～6月生まれの赤ちゃんです。



きくち めい 菊池 芽生 ちゃん

平成28年5月29日生
甘えん坊でちょっぴり(?)泣き虫さん。
たくさん泣いて笑って大きくなーれ!
(家族代表者名:菊池信也)



ひらの れい 平野 伶 ちゃん

平成28年6月16日生
いつも元気で笑顔の伶ちゃん♡お兄ちゃんが好きで追いかけてまわっています。
(家族代表者名:平野智)



かとう いお 加藤 伊桜 ちゃん

平成28年6月24日生
食いしん坊でわんぱくな女の子です。
(家族代表者名:加藤樹也)



こばやし りょうだい 小林 凌大 くん

平成28年6月28日生
ごはんとお兄ちゃんが、大好きです!!
(家族代表者名:小林正人)



あだち さくら 足立 さくら ちゃん

平成28年6月30日生
天真爛漫♪よく食べよく動く我が家のアイドル♡
(家族代表者名:足立孝夫)

世代年齢別情報

おおつちカレンダー

8月7日(月)～9月7日(木)

日付	大槌町内イベント	大槌病院外来	日付	大槌町内イベント	大槌病院外来
7(月)	4ヵ月児・7ヵ月児相談	午前 内外科 午後 内外科	25(金)	3歳児健診	午前 内外科 午後 内外科
8(火)		午前 内外科 午後 内外科	26(土)		完全休診 (急患受付なし)
9(水)		午前 内外科 午後 内外科	27(日)		完全休診 (急患受付なし)
10(木)	元気活いき運動教室	午前 内外科 午後 内外科	28(月)		午前 内外科 午後 内外科
11(金)		完全休診 (急患受付なし)	29(火)	4歳6ヵ月児相談	午前 内外科 午後 内外科
12(土)		完全休診 (急患受付なし)	30(水)		午前 内外科 午後 内外科
13(日)		完全休診 (急患受付なし)	31(木)		午前 内外科 午後 内外科
14(月)		休診 (急患対応)	9月		
15(火)		休診 (急患対応)	1(金)		午前 内外科 午後 内外科
16(水)		午前 内外科 午後 内外科	2(土)		完全休診 (急患受付なし)
17(木)	さわやかストレッチ教室	午前 内外科 午後 内外科	3(日)		完全休診 (急患受付なし)
18(金)	献血 高齢者なんでも相談会 in マスト	午前 内外科 午後 内外科	4(月)		午前 内外科 午後 内外科
19(土)		完全休診 (急患受付なし)	5(火)		午前 内外科 午後 内外科
20(日)		完全休診 (急患受付なし)	6(水)		午前 内外科 午後 内外科
21(月)	12ヵ月児相談	午前 内外科 午後 内外科	7(木)	さわやかストレッチ教室	午前 内外科 午後 内外科
22(火)		午前 内外科 午後 内外科	県立大槌病院(TEL 0193-42-2121)では、個人・事業所健康診断で胃(透視)検診を行っています。希望者はお相談ください。 [大槌病院外来の表示] 内 内科・外 外科・整 整形外科・皮 皮膚科・眼 眼科 (外来日程は都合により変更となる場合があります)		
23(水)		午前 内外科 午後 内外科			
24(木)	もうろう教室 元気活いき運動教室	午前 内外科 午後 内外科			

らく しょう こう せい しゃ 楽 笑 幸 齢者になろう!

お元気教室(介護予防教室)のご案内

高齢者の皆さんが生き生きと生活を送れるよう介護予防教室を開催します。運動や口腔機能の向上、認知症予防などの内容で行います。

■対象 65歳以上の町民 ■会場 シーサイドタウンマスト マストホール(2階)

■日程 9月～11月の3か月コース

毎週水曜日 10時～12時

- 9月:6日、13日、20日、27日
- 10月:4日、11日、18日、25日
- 11月:1日、8日、15日、22日、29日

12月以降も教室を開催予定です
・12～2月のコース
詳細は広報に掲載しますのでご覧になって
お申し込みください

■定員 15名 ※定員を超過した場合は抽選とさせていただきます。

■参加費 無料 ■送迎 希望者には送迎も行います

■申込期間 8月7日(月)～21日(月) 直接窓口または電話にてお申し込みください

■申込の際の留意点 下記に該当する人で教室への参加を希望する場合は、担当のケアマネジャーにご相談ください。

- ①要介護認定要支援1・2をお持ちの人
- ②総合事業対象者(基本チェックリスト(25項目のアンケート)により生活機能の低下等が認められる人)

教室の流れ

1 送迎

車で迎えに行きます(希望者)



2 血圧測定 体調確認

からだの調子を伺います



3 ストレッチ・筋トレや口腔機能向上、脳トレ、レクリエーション



4 送迎

車で送ります(希望者)



教室の様子



皆の顔を見ると嬉しい!



教室に来ると元気になる!



週に1回の教室が楽しみにしている♪

【お申込み・お問い合わせ先】大槌町地域包括支援センター TEL 0193-42-8716

平成29年度「おおつち敬老の集い」を開催します

■日時 9月3日(日) 10:00～ ■会場 城山公園体育館(アリーナ)

■対象者 65歳以上の人(昭和28年4月1日以前に生まれた人)

■案内状が郵送される人 77歳(喜寿)、88歳(米寿)、99歳(白寿)の人には、案内状を郵送します。それ以外で参加をご希望される場合は、右記担当までご連絡ください。 ☎長寿課 介護班 TEL 0193-42-8161

平成28年度 大槌町鶴亀仙(川)柳コンクール 入選作品紹介 (一般部門 最優秀賞) 孫の顔 見たくて買った タブレット (大槌高校 江良 希美さん)

小中一貫教育だより



城山の風

大槌のすべての子に豊かな「育ち」と確かな「学び」を

ふるさと科 地域への愛着を育む学び

7月5日、吉里吉里学園中学部体育館でたくさんの保護者、地域の皆さんの来場のもと、吉里吉里学園郷土芸能発表会が開かれました。

今年も、3年生が各郷土芸能について調べたことを発表し、つづいて4年生から9年生までが演技を披露しました。児童生徒数の減少から、4～6年生も大事な役割を任せ先輩とともに一杯演じていました。

会場からは、子供たちの見事な舞に大きな拍手が送られました。

指導に当たられた各保存会の皆さん・地域の方々に感謝し、今後の「ふるさと科」の充実を図っていききたいと思います。



【ふるさと科・地域への愛着を育てる学び】

■1～4年の目標

ふるさとに伝わる郷土料理や郷土芸能の学習を通して、地域に伝わるものの特徴を理解し大切にしてい

■5～7年の目標

郷土芸能や地域産業の学習を通して、地域の復興と産業や芸能の役割を理解し、ふるさとの担い手として復興のあり方を考える

■8～9年の目標

郷土芸能伝承活動を通して、リーダーの指導力向上を図り、地域への貢献のあり方を考える



地区中総体 三陸の雄たる面目躍如

6月に開催された釜石大槌地区中学校総合体育大会で、大槌学園・吉里吉里学園の選手の健闘が光り多くの種目での県大会出場を勝ち取りました。参加選手の健闘を称えます。

【団体の部】

- 第1位 野球(大槌学園)
- 第1位 ソフトテニス男子(大槌学園)
- 第1位 バスケットボール男子(大槌学園)
- 第1位 バレーボール男子(吉里吉里学園)
- 第1位 卓球女子(吉里吉里学園)
- 第1位 柔道男子(大槌学園)
- 第1位 剣道男子(大槌学園)
- 第2位 サッカー(大槌学園)
- 第2位 剣道女子(大槌学園)



【個人の部】

- 第1位 ソフトテニス男子(児玉尚汰・太田歩:大槌学園)
- 第1位 卓球男子(阿部和也:大槌学園)
- 第1位 卓球女子(田中舞乃:吉里吉里学園)
- 第1位 柔道男子55kg(金崎義人:大槌学園)
- 第1位 柔道男子60kg(金崎大和:大槌学園)
- 第1位 柔道男子66kg(久道啓夢:大槌学園)
- 第1位 柔道男子81kg(菊地宇宙:大槌学園)
- 第1位 柔道男子90kg(軽井沢俊:大槌学園)
- 第1位 柔道男子90kg超(古川大航:大槌学園)
- 第1位 剣道男子(兼澤大志:大槌学園)
- 第1位 剣道女子(熊谷香歩:大槌学園)
- 第2位 卓球男子(岡谷開紀:吉里吉里学園)
- 第2位 卓球女子(田中朱音:吉里吉里学園)
- 第2位 柔道男子50kg(前川和希:大槌学園)
- 第2位 柔道男子55kg(坂本楓:大槌学園)
- 第2位 柔道男子60kg(臼沢竜弥:大槌学園)
- 第2位 柔道男子66kg(倉本岳:大槌学園)
- 第2位 柔道男子90kg超(澤館樹:大槌学園)
- 第3位 バドミントン女子(土沢葵・佐々木結菜:大槌学園)
- 第3位 卓球男子(三浦一真:大槌学園)
- 第3位 剣道男子(瀬戸翼:大槌学園)
- 第3位 ソフトテニス男子(鎌田誠一・八幡大翔:大槌学園)
- 第3位 柔道男子66kg(東梅萌:大槌学園)

イベント

「よ市～夏祭り～」の開催

店舗の本設再建が進む末広町で「中心市街地に賑わいを取り戻したい」との熱い思いから、震災後初めて開催します。大槌末広町商店会加入事業者を中心に、出店や郷土芸能等ステージイベントを実施します。

- 開催日 8月12日(土)
 - 時間 14:00～21:00
 - 場所 末広通り周辺
- ※詳しくは折り込みチラシをご覧ください。
☎ 協同組合 大槌末広町商店会

募集

心の輪を広げる体験作文・障害者週間のポスター募集

障がい者に対する理解を深め、共に生きる地域づくりの促進に資するため、心のふれあいをテーマとした作品を募集

します。応募に関しては下記担当課にお問い合わせください。

【心の輪を広げる体験作文】
テーマ：出会い、ふれあい、心の輪—障がいのある人とない人の心のふれあい体験を広げよう—
応募資格：小学生以上
【障害者週間のポスター】
テーマ：障がいの有無にかかわらず誰もが能力を発揮して安全に安心して生活できる社会の実現

応募資格：小学生及び中学生
■応募締切 9月1日(金)まで
☎ 保健福祉課 地域福祉班 Tel.0193-42-8715

大槌町職員の募集について

町は、平成30年度採用大槌町職員を募集します。住民の目線に立ち、積極的に課題に取り組む意欲を持った人材を求めています。

- 職種及び採用予定人員
①一般事務職 若干名 ②土木技師 1名 ③建築技師 1名 ④社会福祉士 1名 ⑤身体障がい者を対象とし

た一般事務職 1名
■受験申込書の交付日時・場所
場所 役場庁舎2階 総務課職員班
※町ホームページからダウンロードできます。
※郵送でも交付を行います。希望者は、下記問い合わせ先にご連絡ください。

■受験申込書の受付
8月1日(火)～8月17日(木)
8:30～17:15(土日祝日を除く)
※郵送は8月17日消印有効
☎ 総務課 職員班 Tel.0193-42-8710

大槌河川漁業協同組合役員
の公募について

■日時 8月19日(土)
■定員 理事1名(小鮎川沿い 役員)
■公募方法 立候補
■場所 中央公民館 第1会議室
☎ 大槌河川漁業協同組合事務局
Tel.0193-42-7682

釜石大槌地区行政事務組合
からのお知らせ

消防士の平成30年4月1日採用予定は、現時点ではありません。
☎ 釜石大槌地区行政事務組合 業務部
総務課 Tel.0193-31-1336

7月21日(金)～8月20日(日)
夏季火災予防特別警戒実施中

火事と救急は
119番へ

～正しく使って楽しい花火～

- 1 花火は、燃えやすい物のある場所では遊ばないようにしましょう
- 2 風の強いときは、花火遊びは止めましょう
- 3 水バケツ等の消火用水を準備しましょう
- 4 たくさんの花火に一度に火をつけないようにしましょう
- 5 必ず大人の人と一緒に遊びましょう

～火の取り扱いについて～
お盆中は何かと火の取扱いが多くなりますので、火の取扱いには十分注意しましょう。
また、仮設住宅は多数隣接しており、火災が発生すると延焼拡大の危険がありますので火の取扱いはもちろんのこと、建物周囲にはゴミ可燃物等を置かないよう「火の用心」をお願いします。

☎ 釜石大槌地区行政事務組合消防本部 Tel.0193-22-1642
☎ 大槌消防署 Tel.0193-42-3121

大槌橋架替工事に伴う迂回のお知らせ

9月4日(月)9:00より、現在の大槌橋は通行止めになります。

迂回路として右図のとおり仮橋を通行願います。皆様にはご不便・ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。
(※取付道路及び仮橋が狭いため大型車両の通行にはご注意ください。)



☎ 大槌町役場 環境整備課 Tel.0193-42-8722
☎ 東野建設工業(株) 大槌橋下部作業所 Tel.0193-55-5061

もしもの事でお困りの時は お電話ください

はくえい典礼
はくえい通夜会館

事前相談も行っております



仏壇 仏具 灯笼
各種取り揃えております

〒028-1121 大槌町小鮎26-164-15(花輪田) TEL 0193-42-7617 FAX 42-3767

～浪板海岸の再生に向けて～

第一回 浪板海岸砂浜再生懇談会 報告

今年度、県において、浪板海岸の砂浜再生が技術的に可能かどうか検討する技術検討委員会が開催されています。

町は、砂浜再生が可能であると判断された場合、円滑に工事に移行できるよう、地元関係者・県関係者と有識者を交え、地元がどのような砂浜再生を求めるのか、どのような附帯施設が必要なのかを話し合う第1回目の懇談会を開催しました。



【開催日時】
平成29年6月27日(火) 13:00～14:30

【地元関係者の主な意見】
(浪板海岸の魅力について)
・三陸では貴重な遠浅で水のきれいな海岸であり、現在も透明度が高く、浪板海岸の魅力の一つとなっている。

・今でも、国道をわざわざ降りて、海岸を眺める方がいることや、山田側から見える景色が自慢。
(浪板海岸砂浜再生の必要性について)

・もともと吉里吉里海岸はファミリー向け、浪板海岸はマリンスポーツ向けと使い分けがされていた。吉里吉里海岸があるから浪板海岸に砂浜が不要なのではなく、浪板でも海水浴やサーフィンなどのマリンスポーツができるようになってほしい。

(浪板海岸の現状について)
・震災後、浪板海岸の入込数は半分以下に減っている。
・今年も、震災後、ここ数年で一番砂がついており、再生に期待したい。

・震災前は遠浅だったから冬でもサーフィンができたが、現在、3月から9月までの日中しかできない状況になっている。

(砂浜再生の方法について)
・昔、浪板海岸は遠浅の海岸であったので、遠浅の砂浜を希望する。しかし、予算や技術的に難しいのであれば、狭い幅でも良いので、お願いしたい。
・石浜だと、夏は石が熱くなっただけで歩けないので、砂浜が良い。

【附帯施設について】
・トイレは最低限ほしい。
・震災前と同じ設備はあったほうがよい。
・安全性を考慮しつつ、散歩する人、サーファー、海水浴客など、みんなのニーズに合うような工夫が必要である。

【アドバイザーの意見】
(砂浜再生の可能性とその課題について)
砂浜の安定は、波と砂の移動の状況のバランスで決まるものであり、震災前は浪板海岸に砂浜があったということは、そのバランスがとれていたということだと思う。

砂の粒径や量などについて以前と完全に同じ条件の砂浜をつくることができれば、砂浜は安定する可能性が高いが、砂の性質として、砂の粒径が大きければ砂浜の勾配はきつくなり、粒径が小さければ勾配はゆるくなる。

浪板海岸は、岩で両端を抑えられているので、砂は横には動かない、深いところに持っていかれるという可能性があるため、そのメカニズムを解明して、砂浜再生の可能性を調査検討していきたい。

(狭い幅で砂浜再生するための方法について)
どこか一箇所だけ砂をおいても砂は広がって流れてしまうので、結局、砂浜の奥行きがなくなってしまうことになる。狭い幅で砂浜をつくるには、横への砂の流れを止めるため、突堤をつくる必要がある。

【今後の取り組みについて】
町は今後も懇談会の開催等を通じて、県による砂浜再生の技術検討と並行し、砂浜再生が可能となった場合の方法や、再生する範囲、整備する附帯施設などについて、町民をはじめ利用者と意見交換を続けていきます。

砂浜再生に係る技術検討の結果は、来年3月に判断される予定ですが、町としても引き続き県と連携しながら、実現に向けて取り組んでいきます。



お知らせ

傾聴ボランティア養成講座の開催について

釜石保健所では、悩みや不安などに目を傾け、気持ちに寄り添う役割を地域で担う傾聴ボランティア養成するための講座を開催します。

■申し込み 8月18日(金)まで
詳しくは下記にお問い合わせください。
☎釜石保健所保健課 TEL 0193-25-2702

育児・介護休業法の改正のお知らせ

平成29年10月から「改正育児・介護休業法」等が施行されます。主な改正内容は以下のとおりです。

- ①保育園に入れない場合、2歳まで育児休業が取れるようになります。
 - ②事業主は、子どもが生まれる予定の方などに育児休業等の制度を知らせる努力義務が創設されます。
 - ③育児に関する目的で利用できる休暇制度を設ける努力義務が創設されます。
- ※詳細は厚生労働省ホームページをご覧ください。

☎岩手労働局 雇用環境・均等室
TEL 019-604-3010

児童扶養手当「現況届」についてのお知らせ

児童扶養手当を受給している方は「現況届」の提出をお願いします。

■受付期間 8月1日(火)から8月31日(木)までの平日 8:30~17:15
8月19日(土) 9:00~17:00
■場所 大槌町役場 保健福祉課
■必要書類 7月下旬に役場から送付した案内を確認の上、ご用意ください。
☎保健福祉課 地域福祉班
TEL 0193-42-8715

「出張ハローワーク!ひとり親全力支持キャンペーン」の実施

大槌町役場庁舎内に、ひとり親を対象としたハローワーク釜石の臨時窓口を設置します。8月は児童扶養手当の現況届の提出がありますので、普段は忙しいハローワークに足を向けることができない人も、ぜひお立ち寄りください。あなたのお仕事についてのお悩みをハローワークにご相談ください。

■日時 8月24日(木)10:00~16:00
■場所 大槌町役場1階相談室1
■問い合わせ先 釜石公共職業安定所(ハローワーク釜石) TEL:0193-23-8609 住所:岩手県釜石市新町6-55
※ハローワーク釜石ではいつでも相談を受けております。(平日8:30~17:15)

平成29年7月5日からの大雨災害義援金の受付

日本赤十字社では下記のとおり義援金の受付を行っています。皆様の温かいご支援・ご協力をお願いします。

■義援金名称 平成29年7月5日からの大雨災害義援金

■受付期間 8月31日(木)まで
■義援金受付口
(1) 振込による受付
義援金受付口座は大槌町ホームページまたは、下記問合せにご確認ください。
(2) 窓口による受付
役場保健福祉課にて義援金を受け取ります。お持ちいただいた義援金は、日本赤十字社本社の義援金受付口座に送金します。また、受付の際に受領証を発行しますので、住所・氏名(受領書の宛名)・寄付額をお伝えください。
☎保健福祉課 地域福祉班 TEL 0193-42-8715

東大教室@大槌の9月講座を開催します!

中央公民館2階の「大槌文化ハウス」で公開講座を開催します。受講は無料で、どなたでも参加できます。ぜひお気軽にご参加ください!

- 海の教室「大槌の貝がらが記憶する環境」
●日時 9月1日(金)17:00~18:30
●講師 白井 厚太郎(東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋センター助教・古環境学)
●内容 貝がらに記録された過去の環境や生態の情報を読み解く研究について
- 空間の教室「世界建築紀行(1)」
●日時 9月2日(土)10:30~12:30
●講師 松本文夫(東京大学総合研究博物館特任教授・建築学)
●内容 中近東と北アフリカの建築・都市をたずね、居住環境の可能性を探る。
- 主催 大槌町中央公民館、東京大学総合研究博物館
☎中央公民館 事業班 TEL 0193-42-3030

「農業体験農場」体験者募集

農業に興味がある人達へ農業体験の場を提供します。

■対象 ・新たに農業を始めたい人
・農業で働きたい人
■体験場所 大槌町下野地区(葉王堂周辺)
■体験時期 平成29年8~10月 ※随時受け付け
■主催 釜石・大槌地域農業振興協議会
■申込方法 体験したい日時を決めていただき、8月31日(木)までにお電話またはFAXでお申し込みください。
■申込先 大船渡農業改良普及センター(担当 多田、大久保)
TEL 0192-27-9918 FAX 0192-27-9936

いわて環境の森整備事業について

◆森林所有者のみなさんへ◆
植林した森林の手入れができず困っ

ていませんか?
県では「いわての森林づくり県民税」を活用して、公益上重要でありながら、手入れの行き届かない人工林(スギやカラマツなど)を、所有者のみなさんに代わって間伐しています。森林をしっかりと手入れすることは、良質な水の供給や土砂災害の防止など、私たちの暮らしに多くの恵みをもたらすことにつながります。詳しくは、下記にお問い合わせください。

☎岩手県沿岸広域振興局農林部
TEL 0193-25-2704

危険物取扱者保安講習

危険物の取扱者に3年ごとの受講が義務付けられている保安講習を開催します。

■日時 9月26日(火)
■会場 (公財)釜石・大槌地域産業育成センター
■申込期限 8月18日(金)(受講申請書は、消防本部・各消防署で配布)
☎釜石大槌地区行政事務組合消防本部 消防課予防係 TEL 0193-22-1642

住宅情報

移転先住宅団地の宅地 期限付再募集のお知らせ

町は、防災集団移転促進事業で募集を行った防集宅地について、辞退などの理由により当選者のない宅地の期限付再募集を行います。

■募集する住宅団地
詳細については、大槌町ホームページをご覧ください。
▽上町団地 2戸
▽花輪田②団地 1戸
▽吉里吉里D団地 1戸

■募集期間
8月18日から25日の平日(受付時間9:00~17:00まで)
※期限までに申込みがない場合、8月28日から随時募集に切り替えます。

☎都市整備課 町方地域担当班
TEL 0193-42-8723

災害公営住宅および定住促進住宅の入居者を募集します

■申込期間 8月7日(月)から8月21日(月)まで定期募集(申込多数の場合は、選考・抽せんとなります)
■申込方法 入居申込書に必要事項を記入し、大槌住宅管理センターにご提出ください。郵送による申込みも受け付けます。
■申込先 〒028-1121 大槌町小鏡26地割172番地1 大槌町住宅管理センター宛
■申込書の配布 申込開始日より大槌住宅管理センターで配布します。町ホームページからも印刷できます。
■入居要件等 詳しくは募集案内をご確認ください。
☎大槌住宅管理センター
TEL 0193-27-8440

住宅名	建物形式など	入居の予定時期	間取り・戸数
大ケロー丁目町営住宅	長屋タイプ ・木造 ・ペット飼育可	平成29年10月頃	1DK:1戸
源町営住宅	長屋タイプ ・木造2階建て(1DK) ・木造3階建て(2LDK) ・ペット飼育不可	平成29年10月頃	1DK:1戸 2LDK:1戸
末広町営住宅	集合タイプ ・鉄筋コンクリート造6階建て ・ペット飼育可	平成29年10月頃	2DK(A):1戸
吉里吉里第2町営住宅	長屋タイプ ・木造 ・ペット飼育不可	平成29年10月頃	2DK(A):1戸
吉里吉里第2町営住宅	戸建タイプ ・木造2階建て ・ペット飼育可	平成29年10月頃	3DK:1戸 (2人以上の世帯対象) 4DK:1戸 (3人以上の世帯対象)
安渡第2町営住宅	戸建タイプ ・木造2階建て ・ペット飼育可	平成29年10月頃	3DK:1戸 (2人以上の世帯対象)
赤浜町営住宅(現東大洋研裏地区)	戸建タイプ ・木造2階建て ・ペット飼育可	平成30年1月予定	3DK:1戸 (2人以上の世帯対象)
安渡第2町営住宅	戸建タイプ ・木造2階建て ・ペット飼育可	平成30年5月予定	4DK:1戸 (3人以上の世帯対象)
寺野・白澤第3町営住宅(仮称)	戸建タイプ ・木造2階建て ・ペット飼育可	平成30年6月予定	3DK:2戸 (2人以上の世帯対象)
定住促進住宅	集合タイプ ・鉄筋コンクリート造5階建て ・ペット飼育不可	平成29年10月頃	2K:1戸

LPガス・ガス器具
保安業務、各種ガス機器・住宅設備機器の販売

後藤フロパン

大槌町大槌 24-30-14
TEL 0193-42-4333

安心&快適な暮らしづくりを応援します!

ビジネスホテル寿
朝食喰いさん募集

道又新聞店
新聞配達員さん募集

7日間 無料でお試しできます

お申し込みお問い合わせは (有)道又商事 ☎0120-42-5691

みんなのカラオケ広場
「がんばる食堂」
みんなで交流サロン(カラオケ集会所)を利用しよう!
まっぴーす!!

利用場所 大槌町小鏡27-41-4(マスト裏)
利用時間 10時~21時(ただし、18時からは団体利用のみ)
利用料金 一般500円、小中高生300円(園児以下は無料)(ただし、小学生以下は保護者の同伴が必要)
※貸切利用は、上記料金の他に別途1,000円(貸切チャージ)※会議など予約で使用する場合がありますので、あらかじめお問い合わせをお願いします。

無料開放日
8月9日(日)、23日(日)30日(日)
(時間)10:00~17:00
※ただし、飲み物代・暖房費含む(300円自己負担)
カラオケできます!

第11回やさしい健康講座
8月19日(日)13:30~
※受講料無料

☎0193-55-5221・FAX 55-5219 [受付時間 9:30~17:00]
定休日はお問い合わせください。(NPO法人 まちづくりぐるっとおつち)

正社員募集 バス運転士

募集人員 2-3名

■仕事内容 路線バス、貸切バスの運転
■給与 当社規定による昇級・賞与・家族手当・通勤手当・運転手当あり
■免許・資格 大型自動車二種免許必須
大型自動車一種免許がある方は二種免許取得制度あり
詳細は当社までお気軽にお問い合わせください。

大槌地域振興株式会社 岩手県上閉伊郡大槌町吉里吉里3-516
お問合わせ先 0193-44-2661

美容室 LaLa

七五三、入学卒業、成人式、婚礼 御支度 承ります

頭皮洗浄 美しい髪は健康な頭皮、地肌から

大ケロ2丁目3-39
TEL 0193-42-2784
営業時間 9:00~18:00
定休日 月・第3日曜日

・白髪染め(通常5,500円が) 3,500円~
・パーマ(カット込み) 6,480円~

予約優先

おめでた・おくやみ (敬称略) 6月16日~7月15日

出生	中村 珠希 (文博・浪板)	婚姻	千葉 千里 (大ケロー)
	岩間 帆夏 (孝典・赤浜一)		大久保 有美 (青森県)
	三浦 鈴夏 (一樹・大ケロー)		
	平野 煌弥 (秀紀・浪板)	死亡	阿部 トヨ (86・中山)
	平野 カレン (剛・吉里吉里四)		堀合 元太郎 (98・吉里吉里二)
	前川 寛太 (知也・大ケロー)		阿部 哲雄 (81・種戸)
	田中 希生 (悠太・吉里吉里三)		小松 良一 (87・和野)
	及川 明咲 (耕一・桜木町)		小國 延子 (81・安渡三)
	佐藤 緋乃 (和樹・源水)		阿部 榮一 (79・大ケロー)
	倉本 咲 (忍・吉里吉里一)		岩間 鉄太郎 (85・大ケロー)
東梅 蒼来 (昇・上町)	佐久間 カン (90・安渡三)		
大坂 侑 (知・上町)	黒沢 淑子 (78・沢山)		

測定結果

▶町内各地の放射線量について

7月19日に町内17カ所で放射線量を測定した結果、国の除染基準(0.23毎時マイクロシーベルト)を超える地点はありませんでした。平均値は0.064毎時マイクロシーベルトでした。

※詳細は町ホームページをご覧ください。

☎ 町民課 環境生活班 Tel 0193-42-8713

▶最終処分場放流水の水質について

6月14日に採水した、一般廃棄物最終処分場放流水の水質分析結果と放射性物質濃度測定結果について、基準値を超える項目はありませんでした。

休日当番医のお知らせ [釜石医師会]

日程	当番医 / 所在地・電話番号
8/11(金)	ふじまる内科医院(内・消) 釜石市鷗住居町5-29-10 Tel 0193-29-1777
8/13(日)	平野内科医院(内) 釜石市只越町3-3-3 Tel 0193-22-1273
8/20(日)	釜石のぞみ病院(内) 釜石市大渡町3-15-26 Tel 0193-31-2300
8/27(日)	小笠原内科クリニック(内) 釜石市上中島町3-2-20 Tel 0193-25-2580
9/3(日)	はまと神経内科クリニック(神・内) 釜石市鷗住居町5-29-10 Tel 0193-29-1212

※休日当番医は、専門的な治療ではなく応急処置が原則です。不要不急な休日の受診は避けましょう。適切な休日当番医の利用にご理解とご協力をお願いします。 ※入院が必要な場合は、県立釜石病院またはせいてつ記念病院が対応します。

休日歯科診療のお知らせ [釜石歯科医師会]

日程	歯科医院 / 所在地・電話番号
8/13(日)	久喜神経内科歯科クリニック 釜石市中妻町2-15-3 Tel 0193-23-1111
8/20(日)	瓦田歯科医院分院 釜石市小川町1-2-2 Tel 0193-23-6275
8/27(日)	かまいし駅前歯科医院 釜石市鈴子町1-1プロスパビル2階 Tel 0193-22-4182
9/3(日)	おいかわ歯科医院 釜石市港町2-1-1イオンタウン釜石3階 Tel 0193-22-5800

■診療時間 9:00~12:00(正午)

☎ 保健福祉課 健康推進班 Tel 0193-42-8715

3.11 あの日から未来へ



ほりあい 堀合 サタさん

大正14年7月3日~平成23年3月11日(享年85歳) 大槌町吉里吉里2丁目

人生のあゆみ..... サタさんは吉里吉里の芳賀家に生まれました。教育熱心な家庭で育ち女学校を卒業。漁業協同組合の事務員として働き結婚を機に退職。1男2女に恵まれました。夫の堀合市助さんは漁船の乗組員でした。55歳以降は地元でサケのはえ縄漁に従事し、サタさんも夫の仕事を手伝いました。世話好きで納税組合の仕事も長く続け感謝状を贈られました。旅行者に食事を提供し、世話をいとわず、後に礼状が届くこともありました。「人の振り見て我が振り直せ」「仕事が嫌だと思ったら良くすることを考える」「人に対して嫌だと思わず逆に良くしてあげる」が口癖でした。

震災時の状況.....

地震発生時は自宅にいました。船を避難させるために

家を出る長男に食料を手渡した後、ひ孫たちを心配して小学校に向かいました。小学校では、長女、ひ孫が避難しているのを確認後、長男を案じて家に帰ろうとしました。小学校の下の親戚に声をかけて家に戻る途中で津波にあったと思われま。ご遺体が発見されたのは3月21日でした。

伝えたいこと.....

夢の中で「小学校から家に戻る母を止めなくてごめん」と謝る私に寂しそうな顔を見せました。その後に見た夢では笑っていたので安心しました。 笹谷み子さん(長女)

いつも手を合わせ、「成仏して欲しい、みんなを見守って欲しい」と話しかけています。 堀合高美さん(長男)

写真を飾り花と水を供えています。毎朝仕事に行くときには声を掛けて出かけます。 堀合とも子さん(次女)

平成27年6月



堀合サタさんと夫の市助さん

3.11東日本大震災によって犠牲になられた方のご遺族へのお聴き取り作業は、平成29年度も引き続き実施しております。回顧録に掲載ご希望の方は震災伝承推進室までご連絡下さい。

※詳細は町ホームページをご覧ください。 ☎ リサイクルセンター Tel 0193-42-7570

相談・説明会

「住宅再建相談会」を開催します

事前申込みは不要です。ぜひお越しください。

■開催日 9月3日(日)

■時間 10:00~12:00、13:00~16:00

■場所 大槌町役場1階コミュニティ総合支援室

■内容 ①住宅金融支援機構による「災害復興住宅融資」についての説明および相談、住宅ローンのシミュレーション ②上開伊地域復興住宅協議会「スクラムかみへい住宅(無駄を省いて住みやすい、地域の力で育てる木造住宅)」についての説明および相談 ③住宅の新築などに係る公的支援制度についての説明および相談 ④住まいの復興給付金申請相談会も同時開催

☎ コミュニティ総合支援室 Tel 0193-42-8718

釜石・大槌地域就農相談会を開催します

農業を始めたい人、後継者に農業を継いでもらいたい人や農地を活用して何か作付をしたい人の相談にお応えします。相談の際は、事前に申し込みをお願いします。

■日時 8月17日(木) 13:00~16:00

■場所 釜石市役所本庁舎地階

第5会議室 ■申込先 大船渡農業改良普及センター 多田、大久保 Tel 0192-27-9918

行政相談

今月の行政相談は、下記のとおり相談所を開設します。ぜひ、ご利用ください。

日程	会場	時間
8月10日(木)	末広町町営住宅	9:30
8月18日(金)	大槌町役場1階相談室1	11:30

☎ 総務課 総務班 Tel 0193-42-8710

人権相談

■日時 8月18日(金) 10:00~12:00

■会場 大槌町役場1階相談室2

☎ 町民課 環境生活班 Tel 0193-42-8713

出張就職相談窓口(8月)

ハローワーク釜石と岩手県社会福祉協議会による出張就職相談窓口を開設します。

■開催日 10日(木)、24日(木)

■時間 両日とも 13:30~15:30

【ハローワーク釜石】

■会場 大槌町役場3階小会議室2

【岩手県社会福祉協議会】

■会場 大槌町役場3階小会議室3

※この相談会は、雇用保険の失業認定の求職活動に該当します。

☎ 商工観光課 雇用・企業立地班

Tel 0193-42-8725

健康

大槌町健康まつり開催

町は「大槌町健康まつり」を下記のとおり開催します。

テーマを「健口から健康へ!輝け未来の歯っぴーライフ」とし、お口の健康に関連する各種団体のコーナーを設けます。また、特別企画として、歯科検診と口腔がん検診を実施します。

これを機会に、「いつまでも自分の歯で食べる大切さ」「お口から始める健康づくり」について一緒に考えてみましょう。

■開催日 9月9日(土)

■時間 9:30~14:30

■会場 役場多目的会議室

※詳しい日程については、折込チラシをご覧ください。

☎ 保健福祉課 健康推進班

Tel 0193-42-8715

献血のお知らせ

岩手県赤十字血液センターの献血車による献血を下記の通り行います。皆様のご協力をお願いします。

■実施日 8月18日(金)

■受付時間 9:30~12:00

13:30~15:30

■場所 役場入口(町民室前)

☎ 保健福祉課 健康推進班

Tel 0193-42-8715

お盆セール 8月16日(水)まで

仏壇・仏具・神具 こした仏具店

上町に移転しました TEL&FAX 42-4661



初盆返礼品 承っております

返品もできますのでお気軽にお問い合わせください。

タクシー ジャンボタクシー 車いすタクシー 運転代行

安全・安心をお届けする 大槌タクシーを是非ご利用ください。



▶タクシー運転手募集(女性乗務員歓迎)

大槌タクシー

営業時間 7:00~24:00 左記以外の時間帯はご相談ください

〒028-1131 大槌町大槌第23地割7-5(みずかみ大槌店さうろ)

TEL 42-2256(代)



今月の大植びと

大久保 彩乃さん

(27歳・一般社団法人代表理事)

一般社団法人Tsubomi(つぼみ)の代表理事を務める大久保さん。大植の人が、地域を愛し、自分らしく輝けるために活動しています。

「ママだから無理」じゃなくママの視点で活躍する

Tsubomiではどのような活動をしていますか？

大久保さん(以下大)ーママのためのサロン、講座の開催や、仮設住宅に向いて楽器の生演奏をする音力フェなどを行ってきました。今年度から、おうちコミュニティプレイス事務局の運営も行っています。

大ー震災後、AMDA大植



健康サポートセンターに所属し、サロン活動などをしていました。その間、自身の出産も経験した中で、自分の取り組みたいことが明確になったので、今の事業を立ち上げました。

活動するうえで大事にしていることは何ですか？

大ー特に子育てをするママのための事業においては、自分もママですから、その視点を生かして、等身大の姿を企画に反映させたいと思っています。仕事や、地域での活動をしたい人たちが、「ママだからできない」「じゃなく、「ママの視点で活躍できる」町にするのが目標です。その意味では、自分もモデルになれる

環境は意志があれば変えていけると証明したい

これからの町で大久保さんが担う役割は何でしょうか？

大ー高齢化が進む今だからこそ、若い世代が意見を発信し、想いを形にしていこうとが必要だと思っています。私は、自分の目線、子育て世代を切り口に取り組んでいます

が、活動が広がり、多世代と一緒に町をつくっていくと思います。そのためには、Tsubomiの掲げている、女性の働き方提案、雇用創出などを実現し、環境は意志があれば変えていけることを証明したいと思っています。

ようにと、前向きに仕事に取り組んでいます。環境は意志があれば変えていけると証明したい



7月号 高橋 宏明さん
8月号 大久保彩乃さん

前号と今号の大植びとが対談するコーナーです。様々な分野で活躍する大植びとの皆さんが、誌面の上で出会います。「たし算」ではなく、「かけ算」の絆が、また新たな大植を創っていきます。

同年代で小さいお子さんもお二人ですが、子供の頃の町を思い出して、今あったらいいなと思うものは？
高橋さん(以下高)ー子どもが一人でお小遣いを持って行けるようなお店が無いなと思います。例えば駄菓子子屋みたいな。

大久保さん(以下大)ー確かに。私は町方ですけど、花火屋さんが思い出深いです。遊び場やたまり場ももつとありましたよね。公園とか、「ふれセン」とか。

ふれあいセンターの事を「ふれセン」と言ってますね(笑)
高ー僕達の世代はみんな言いますね。

大ーあと浅沼のあぶらまんじゅうが美味しかった。
高ーあー、「あぶまん」(笑)。

お二人が互いの分野で協力して何かするとしたら、どんな事をしてみたいですか？

大ー例えば障がいのあるお子さんのお母さん達って、子育てイベントにも参加しにくいかもしれない。そういう人向けの企画をする時、助言いただけると助かります。

高ー子どもへのサポートはあっても、親御さんへのサポートは少なくて、皆さん自分で勉強して頑張ってるんです。息抜きの場ができたらずいぐく良いと思います。

